

世界初の、医師が処方する内服による男性型脱毛症用薬「プロペシア錠」が 2005 年 10 月 11 日付で厚生労働省より輸入承認を受け、12 月 14 日より発売になりました。現在既に世界 60 カ国以上で承認されています。そこで今回は、「男性型脱毛症」および「プロペシア錠」についてお話ししたいと思います。

●AGAとは

AGAとは、Androgenetic Alopeciaの略で、「男性型脱毛症」の意味です。

成人男性によく見られる髪が薄くなる状態のことです。思春期以降に額の生え際や頭頂部の髪が、どちらか一方、または双方から薄くなっていきます。一般的に遺伝や男性ホルモンの影響などが主な原因と考えられます。

●AGAの原因物質

AGAの脱毛部にはDHT（ジヒドロテストステロン）が高濃度にみられ、これがヘアサイクルの成長期を短くする原因物質と考えられています。

このDHTから脱毛シグナルが放出されると、成長期が短くなることにより、髪の毛が長く太く成長する前に抜けてしまいます。十分に育たない、細い短い髪の毛が多くなると全体として薄毛が目立つようになります。

●AGAの特徴

AGAはゆっくりと進行していきます。何もせずに放っておくと、髪の毛は減り続け、徐々に薄くなっていきます。

ただし、AGAでは普通、薄毛になっていても、うぶ毛は残っています。毛包が存在している限り、髪の毛は太く長く育つ可能性があります。

そのためAGAは早めのケアが大切です。

●AGA治療で大切なこと

AGA治療で一番大切なことは、根気よく治療を続けることです。AGA治療の効果がみられるようになるまで、通常6ヶ月かそれ以上かかります。

●男性型脱毛症用薬「プロペシア錠」の製品概要

製品名	プロペシア錠 0.2mg 、 プロペシア錠 1mg
成分名	フィナステリド
製薬会社	万有製薬株式会社
効能・効果	男性における男性型脱毛症の進行遅延
用法・用量	男性成人には、通常、フィナステリドとして 0.2mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、必要に応じて適宜増量できるが、1 日 1 mg を上限とする。
作用機序	フィナステリドは、男性ホルモン（テストステロン）をより強力な男性ホルモンであるジヒドロテストステロン（DHT）へ変換する酵素である 5 α -還元酵素Ⅱ型の阻害剤である。遺伝的な男性型脱毛症を DHT は誘発することから、この 5 α -還元酵素Ⅱ型を阻害することにより、発毛効果をもたらす。
購入方法	プロペシアは医療用医薬品で、購入には医師の診断・処方せんが必要です。
健康保険・薬価	薬価基準未収載薬のため保険給付の対象とはなりません。参考処方価格として、プロペシア錠 0.2mg, 1mg とともに 1 錠あたり 250 円（税抜き）が設定されています。

●どのくらいで効き始めますか

効果の判定には6ヶ月の服用が目安となります。

●女性は使えますか

使えません。女性の適応はありません。（妊娠中の婦人が本剤を服用すると、男性胎児の生殖器官等の正常発育に影響を及ぼすおそれがあります）

●塗るタイプの育毛剤・発毛剤と一緒に使えますか

頭皮につけるタイプの育毛剤と一緒に使っても問題となった報告はありません。

●前立腺がんの検診を受ける予定のある方は、医師にお知らせください

フィナステリドは、前立腺がん検査で測定されるPSA値を約50%低下させることが知られています。

〈参照〉

- ・万有製薬株式会社ホームページ
- ・AGAに関する詳しい情報 → <http://aga-news.jp>
- ・〈一般の方用〉AGAコールセンター

0120-73-1082

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00（土日祝日除く）